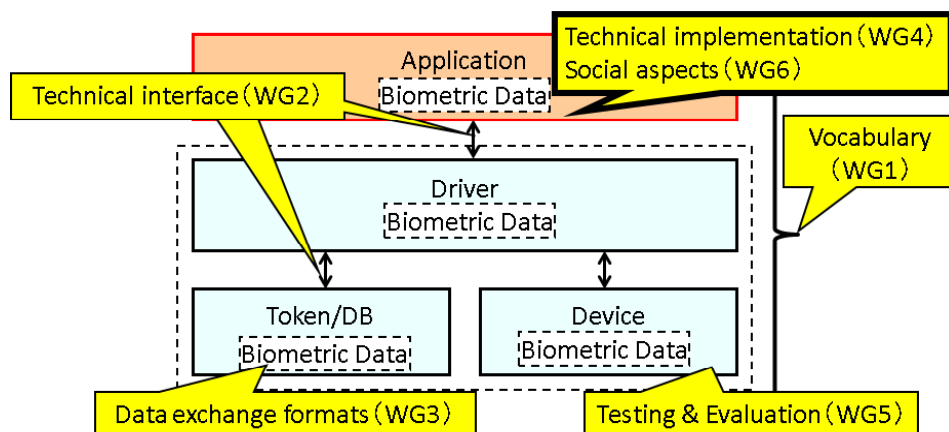


SC 37/WG 4 活動状況報告

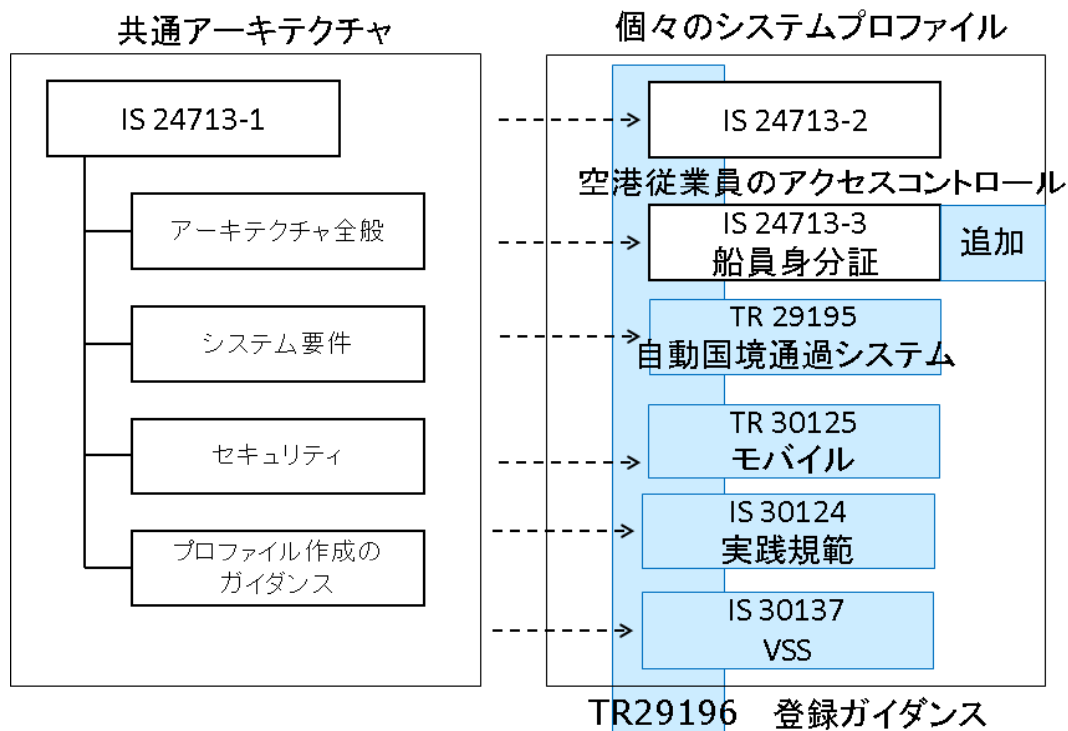
2014/10/7(火)
産業技術総合研究所
山田朝彦

SC 37/WG 4概要

- Technical Implementation of Biometric Systems
バイオメトリクスのシステムの技術実装に関するベスト
プラクティス・ガイダンス・実装要件などを開発
- 体制
コンビーナ: Michael D. Hogan(米 NIST)



WG 4各PJの関係



国内体制

- 主査: 山田朝彦 (産業技術総合研究所)
2014年4月に山口利恵 (東京大学) から交代
- 委員7、エキスパート2、オブザーバ3、
リエゾン1 (JEITA映像監視システム専門委員会)
- 1回/月の頻度で委員会開催

過去1年間の状況概観

- 1月ダルムシュタット会議
参加者約25名(日5、米5、韓2、英2、豪2、独2、仏1ほか)
日本は、山口主査(東大)、瀬戸幹事(産業技術大学院大学)がフル参加
- 7月ウェストラファイエット会議
参加者約20名(日2、米5、英2、豪2、ニュージーランド1、独2、仏1、ノルウェー1ほか)
日本は、瀬戸(産業技術大学院大学)、山田(産業技術総合研究所)が参加
- 米、英の活動が活発
- WGタイトルの変更
 - Biometric Functional Architecture and Related ProfilesからTechnical Implementation of Biometric Systemsへ
- 継続PJ4件・新規PJ1件、次回2015年1月トレド会議PJ3件に

29195 TR Passenger processes for biometric recognition in automated border control systems

- エディタ: Bill Perry(米)
- 進捗: PDTRからTR出版
ダルムシュタット会議でDTRに進み、ウェストラファイエット会議でTR出版決定
- 文書の内容:
 - 自動国境通過(ABC)システムの概要
 - ABCシステム構築の留意点
 - モダリティ毎のガイダンス
 - 各国事例
- ダルムシュタット会議で静脈に関する記述の見直し
 - 米国コメントを受け入れ、技術的に詳細な記述からより一般的な記述に

29196 TR Guidance for biometric enrolment

- エディタ: Marek Rejman-Greene (英)
- 進捗: PDTRからTR出版
ダルムシュタット会議でDTRに進み、ウェストラファイエット会議でTR出版決定
- 文書の内容:
 - 登録システムの分類
 - 登録システムの関与者(ユーザ、登録機関、オペレータ、Relying Party、システム設計・開発者)の視点での考慮事項
 - モダリティ毎のガイダンス
 - ユースケース
- ダルムシュタット会議で文書構造の一部見直しするも大きな問題はなかった

30124 Code of practice for the implementation of a biometric system

- エディタ: Peter Waggett (英)
- 進捗: CDからCD
- 文書の内容:
 - バイオメトリックシステム概要
 - 要件定義の留意点
 - 受入試験の留意点
 - 運用の留意点
- ダルムシュタット会議ではオーストラリアから約50件のコメント
- エディトリアルな問題がまだ多く、現在3rd CD

30125 TR Biometrics used with mobile devices

- エディタ: Fred Preston (英)
- 進捗: WDからPDTR
- モバイルデバイス上のバイオメトリクスを使うアプリケーション作成のためのガイダンス文書
- ダルムシュタット会議でMobile biometricsの定義の議論があり、タイトルをUse of Mobile Biometrics for Personalization and Authenticationから上記に変更
- ダルムシュタット会議で、新崎(富士通研)から日本の状況を、山田(東芝ソリューション)からACBioを、それぞれ紹介し、ACBio参照の記載を追加
- ウェストラファイエット会議では、7節 Privacy and personal data protection issuesに対して寄書募集

30137-1 Use of biometrics in video surveillance systems – Part 1: Design and specification

- エディタ: Geoff Whitaker (英)
- 進捗: NPからBD
- ダルムシュタット会議で、2件のNPに対して、ひとつのマルチパートのPJが成立
 - ISO/IEC 30137: Use of biometrics in CCTV systems
 - Part 1, Design and specification (WG 4)
 - Part 2, Performance testing and reporting (WG 5)
 - Part 3, Data formats (WG 3)
- 国内ではJEITA映像監視システム専門委員会の協力の下、活動
- ウェストラファイエット会議で、日本コメントにより、タイトルのCCTVをVSSに変更
- 歩容をスコープから外すなど、日本コメントの寄与が大きい

リエゾン

ダルムシュタット会議で2件のリエゾン文書进行处理

- ILO
 - 船員手帳に関連し、SC37からの支援を期待
 - APIのコンFORMANCE
 - データフォーマットのコンFORMANCE
 - ガイドやベストプラクティス
 - SC 37活動の内容紹介を返書
- CEN
 - CEN/TS 16428 Best practice for slap-ten print captureのCENからSC 37/WG 4への移行の提案
 - ファストトラックまたはNPへ（結果的にファストトラック、現在投票中）

ご清聴ありがとうございました